

令和元年度第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会議事録

1 開催日時 令和2年1月15日(水) 14:00～15:30

2 開催場所 新居浜市役所5階 大会議室

3 出席者

委員：浅井委員、伊藤(美)委員、伊藤(里)委員、白石委員、鈴木委員、知元委員、
續木委員、土岐委員、野口委員、三木委員、宮内委員、山本委員(12名)

事務局：福祉部：部長・藤田、地域包括支援センター：所長・伊達、副所長・佐々木、
越智、主任・佐崎、介護福祉課：課長・久枝

4 会議内容

- 1 令和元年度事業実施状況について
- 2 地域ケアネットワーク推進協議会について
- 3 在宅緩和ケア推進事業について
- 4 地域ケア推進会議について
- 5 その他

5 傍聴者 1人

6 議事録

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから、令和元年度第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>まず、本日の会議の出欠状況ですが、新居浜市老人クラブ連合会・小野委員、新居浜市連合自治会・坂上委員が都合により欠席となっており、委員数14名に対し、出席委員12名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第2項の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、新居浜市地域包括支援センター運営協議会の議事を行います。議事の進行は、設置要綱第6条第1項の規定により知元会長にお願いいたします。知元会長よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>本日の議題は、お手元の会次第のとおり</p> <p>協議題(1)「令和元年度事業実施状況について」</p> <p>協議題(2)「地域ケアネットワーク推進協議会について」</p> <p>協議題(3)「在宅緩和ケア推進事業について」</p>

	<p>協議題（４）「地域ケア推進会議について」</p> <p>協議題（５）「その他」となっております。議事が円滑に進行できますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、協議題（１）令和元年度事業実施状況について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局説明）</p>
会 長	<p>ただいま、事務局より「令和元年度事業実施状況」について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p> <p>（質問なし）</p>
会 長	<p>続きまして、協議題（２）地域ケアネットワーク推進協議会について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局説明）</p>
会 長	<p>ただいま、事務局より「地域ケアネットワーク推進協議会」について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>最終報告はいつになりますか。</p>
事務局	<p>最終報告は年度内に行いたいと考えております。ランチとの協議だけでなく、地域の方々とも地域ケアネットワーク推進協議会の場で協議が必要ではないかと考えております。</p>
委 員	<p>全校区に地域ケアネットワーク推進協議会があり、それぞれに規約があると思います。以前、内容を統一したと思いますが、規約も含めてリニューアルする方向性は良いと思いました。</p>
委 員	<p>第二層協議体のコーディネーターは、各ケアネットワークに置いているのではなく、必要に応じて出向くということでしょうか。</p>
事務局	<p>圏域別に４人を配置しております。校区担当として分かれております。</p>
委 員	<p>地域ネットワーク推進協議体は１８校区あるので、一人の方が４～５校区担当するということになると、年４回のケアネットワークは行くことはできますが、地元それぞれのオリジナルな活動をしようとしたとき、コーディネーターさんが対応できるの</p>

	<p>かが心配になりました。</p> <p>また、地域の中でたくさんの役割を持っている方もいますが、その方らにケアネットワークの役割をつけ足したり、それ以外の人たちへの波及も大変だと思いますが、考えがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>自由記載の意見の中にもありましたが、地域の方をもっと巻き込んでいく、同じようなメンバーで今後発展させていくのか等、協議に入れることができればと考えております。</p>
委員	<p>同じような会議は整理すべきだという意見が出ているようですが、具体的にどのようなものは整理しようと考えているのでしょうか。協議会に出ている方は、いろんなことをしている方が多いので、会を整理することで1つのことに集中できるようになると思います。</p>
事務局	<p>他の担当部所で実施している会議も、同じようなメンバーということもあると思いますので、調整会議が必要であると考えております。包括だけで解決できる部分とできない部分もありますので検討が必要と考えております。</p>
会長	<p>続きまして、協議題（3）在宅緩和ケア推進事業について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局説明）</p>
会長	<p>ただいま、事務局より「在宅緩和ケア推進事業」について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>コーディネーター研修に行きましたが、西条市はコーディネーターが活動しており、カンファレンスの集合をかけるシステムが浸透しています。新居浜市はどうするのかと聞かれましたが、わかりませんと答えました。大きい病院であると、ワーカーが集合をかけて話し合いはできますが、地域に帰った後、ずっと見ていくのは、フィードバックができていない状態ですので、できれば早めに方針を出していただきたい。</p>
事務局	<p>前向きに検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>新居浜市がこの事業を必要とする実態を掴んで、新しい事業を導入するのが通常だと思いますが、中橋先生が新居浜市でもシステムを作ろうとしたり、南予に負けてはいけないというのがあると思いますが、中核病院があって、在宅診療を引き受ける先生がこうあって、コーディネーターがいてということが見えないので、新居浜市の実</p>

	<p>態に対してどういう可能性があるのかを抑えておくほうが良いと思いました。24時間見てくれる在宅診療医がいるのか、入院で亡くなるのか在宅で亡くなるのか希望と現実がうまく沿ってないのか等、根拠としてあると良いと思いました。作ることに意義があるのではなく、どのようにしようという青写真があれば大事さが良くわかるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>先日、知元先生とも相談しましたが、新居浜市では、困っている現状ではなく、受け入れ先がある状態です。今言われましたように、言われたから作るのではなく、今ある資源を活用しながら、行っている事業の延長でできたらと考えております。</p>
委員	<p>医師会でもある程度調べていますが、完全に把握できている訳ではありませんが、新居浜の場合は、住友別子病院が、がんの拠点病院として働きをしているのでバックベッドの対応ができています。ただ、がんセンターと日赤と愛大が、地域医療について、新居浜でどこに相談したら良いかを言われることがありますので、その中心は作っていかうと考えております。</p>
委員	<p>包括が事務局的になっていますが、緩和ケアは年齢層が幅広く、若年の方もいると思いますが、担当的にはどうなりますか。</p>
委員	<p>西条市の場合、最初、保健センターがこのモデル事業を受けましたが、年齢的には対象が少なかったということで、事務局は包括に変更となったと聞きました。保健センター内でも、この事業についての話をしましたが、在宅医療というのを、積極的に取り組んでいく話にはなりません。</p>
委員	<p>家で看取るということは共通していますが、痛みを取るとか、がんターミナルというところに特化するのか、それとも、家で人生を閉じたいという方を考えるかで違いますので、包括に話がいったのかと思います。県内でも、いろいろなやり方があり、がんだけに特化せず、横のつながりを生かしてニーズに合わせるという意味では良いのかと思いました。</p>
委員	<p>基本は、在宅が目的という形で話は始まっています。年齢層としては、高齢の方のほうが在宅を希望される方が多く、介護保険を使わない年齢層の方は、病院で最後までできる限りの事をしてほしいという方が多いので、在宅緩和ケアに入る人数としては少ないのではないのかと思っています。がんだけというよりは、今行っている在宅医療・介護連携推進事業の一部として実施していかうと考えています。</p>
委員	<p>他市では訪問介護士がチームに入っていなかったと思います。新居浜市の場合は、訪問介護士がこのチームに入れてもらえるということなので、安心しました。</p>

会 長	<p>続きまして、協議題（４）地域ケア推進会議について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局説明）</p>
会 長	<p>ただいま、事務局より「地域ケア推進会議」について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>認知症の問題は非常に重要なのでしっかり協議して体制を整えて行くことが必要だと思っておりますが、成年後見制度のことがひとつも出てきませんでした、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>新居浜市が抱えている地域課題を抽出した時に、大分類で9、小分類で15あり、その15のうちの1つが認知症になっても暮らしやすい生活環境が整うとなっておりますが、成年後見制度のことも、小分類で分類しており、今のところ、推進会議では協議できておりませんが、相談支援係で進捗していくということで、今後、推進会議の中で進捗を報告していくということになっております。</p>
委 員	<p>成年後見制度を必要としている高齢者は、これから益々増えてくると思います。財産管理ができなかったり、家族の協力が得られない認知症高齢者も益々増えていくと思いますので、その体制をしっかり新居浜市として整えていく必要があると思っております。</p> <p>結果として当事者だけではなくその家族や近親者、支えているケアマネジャーや施設の方々の不安感や重圧、やむを得ずお金の管理をしてしまっていることが仮にあるのであれば、十分な体制を新居浜市として、ぜひ充実していただきたいと思います。</p> <p>地域課題を分けられていることは良くわかりました。</p>
委 員	<p>市内の社会資源を多面的に巻き込んでいこうという取り組みの様子がよくわかりました。サポーター養成講座などはかなり若い方も受けており、サポートのレベルをどこに置くかによっても違いますが、若い層の人たちが環境整備の中に参画していただけると良いと思ました。</p> <p>また、銀行でも講座を行ったということですが、バス会社あるいは運転手さんの協力も必要であり、さらには、そこにいるバスの乗客者も、認知症の方が乗り降りするまで待ってくださらないといけないというようなPR的なところも必要になると思いながら、取り組みが発展している様子がわかりました。</p> <p>ただ、環境整備という中でSOSネットワークが1番にきていることに違和感に感じました。市民が良い環境の中で守られることがあって、それでも行方不明が起こった時は、SOSネットワークの体制をとると思っておりました。しかし、まさかの時だ</p>

	<p>けではなく日常的にその人の困りごとをSOSと考えれば1番でいいのかなと思いました。</p>
委員	<p>バスの件ですが、高齢者の方は、乗り方や行き方は分かっているけど、便が少ないのと、昔に比べてルートが変更されているので、バスを使う支援よりも、本数を増やして欲しいというのが現状です。バスについては、結局使いにくいいため、使わない、そうすると、家に引きこもってしまい、身体機能や認知機能が低下し、介護度が上がっているように思います。</p>
事務局	<p>今年度の介護予防教室に参加された人は97人おり、会場である公民館までの送迎を利用していた17人の方について、自宅から公民館までバスで行けないかを調べたところ、バスで行くと1時間以上かかったり、乗り換えの待ち時間が30分あったりしました。ただ、新居浜市の場合は、デマンドタクシーがあり、バスの連結地点までデマンドタクシーで行くことができますので、バスだけではなくデマンドタクシー等も使って移動できないかというところを市民の方にお伝えしたいと思っております。</p>
会長	<p>続きまして、協議題（5）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回の運営協議会の日程についてですが、3/11か3/18で考えておりますので、調整次第連絡をさせていただきます。</p>
会長	<p>予定いたしておりました議事は終了いたしました。全体をとおして何か意見等ございませんか。熱心にご協議いただきましてありがとうございました。</p>